

年を取っても旅行したい 高齢者に優しいUDツアー

長く歩くのは自信がない、トイレが近い…。こんな理由から、旅行したいのになかなか思い切れないというお年寄りは多い。しかし、適切な援助があれば海外旅行も十分可能。一人でも十分楽しめるサービスが整いつつある。

八十四歳の平野美代子さん
〓荒尾市下井手〓は九月下旬、ユニバーサルデザイン(UD)ツアーに参加し、六日間のハワイ旅行を楽しんだ。

UD旅行は年齢や障害の有無にかかわらず誰でも楽しめるように交通機関や日程、宿泊、介護などを整えた旅行のこと。近年は旅行代理店の企画が徐々に増えており、平野さんは今回、UDに力を入れる熊本市飛田の旅行代理店「旅のよろこび」(宮川和夫代表)のハワイUDツアーに参加した。

平野さんは旅行が趣味。主に一人で団体旅行を利用し、これまで約四十カ国を訪れたが、二〇〇二年、交通事故で左大腿(たい)骨を骨折。リハビリで回復したものの歩行速度が遅くなった。それでもゴムバンドを使う筋力トレーニングや散歩で体力を維持し、今年六月には一般の団体旅行で中国へ。しかし、長く歩かなくてはならない日は、一行と離れてホテルにとどまるしかなかった。

日程や介護に配慮 事前の設備調査も

平野さんは、今年一月「旅のよろこび」の国内ツアーに参加。二時間に一度のトイレ休憩や、ゆったり組まれた日程が気に入っていた。そこで、



カメハメハ大王像の前で記念撮影するハワイUDツアー参加者＝ハワイ・オアフ島(旅のよろこび提供)

今回のハワイ旅行は、一般のツアーに比べ費用は約二倍と割高だが、再び同社のツアーを選択。介護福祉士などの資格を持つボランティア二人が同行すること、到着初日は早めにホテルで休めるなど日程にゆとりがあることなどが安心できた。

また、大手業者は窓口が東京にあるため、集合場所も成田空港になることが多いが、「旅のよろこび」の場合は、集合と解散が県内ということも理由の一つだ。

旅行の参加者七人のほとんどが六十歳以上。このうち障害を持つ人は五人いた。帰国したばかりの平野さんは「参加する人がみな明るく、旅への意欲を感じた。参加者同士の交流も楽しいですよ」と話す。宮川代表には「まだ行っただけなのにインドに連れて行ってほしい」と早くもリクエストを出したという。

(河内正一郎)



旅行のために、ゴムバンドを使ったトレーニングに励む平野さん〓荒尾市下井手

◇メモ 内閣府が2004(平成16)年、60歳以上の4000人を対象に実施した「高齢者の日常生活に関する意識調査」によると、普段の楽しみを旅行と答えた人は30・6%(選択肢中4位)、今後取り組んでみたい活動として旅行を挙げた人は31・7%(同2位)。高齢者の旅行への意欲は高い。